

東日本旅客鉄道労働組合

東京都渋谷区代々木2丁目2番6号

JR新宿ビル13F 〒151-8512

Tel. 03-3375-5740 (代)

発行責任者 古川建三

JR東労組 本部OB会

ニユース

No. 251 2018年 1月発行

次の10年に向けて立ちよう



JR東労組OB会
会長 古川建三

**OB会員・エルダー会員のみなさん
明けましておめでとございます。**

OB会員のみなさんやJR東労組本部、現役各執行機関のみなさんの絶大なご協力をいただき、本部OB会結成20周年を無事お祝いできましたことに感謝申し上げます。

さて本部OB会は結成20年を経過し、新しい10年に向かって歩み始めましたが、「自主・自立の組織」としての力量はまだまだ不足しています。地本OB会を中心とした地域活動と連携した活動はしっかりしてきましたが、会員との接点は必ずしも多くありません。もっと会員一人ひとりとのつながりを創り出していくOB会であればなりません。なぜなら、故松崎さんの教えである「人に優しいOB会」を目指しているからです。従って、OB会活動の基本を、地本OB

迎春



今年も現役のみなさんと連携しながら、会員のためのOB会づくりの先頭に立つことをお誓い申し上げます。

立憲民主党を育てよう

東日本大震災や福島第一原発事故からの復旧・復興はまだまだなのに風化していく危機を肌で感じます。被災地の思いは、国の対応に不満が強いのに、今回の衆議院選挙では争点にならず残念無念です。第48回衆議院議員選挙では、安倍の狙いを打ち砕くことが出来ませんでした。森友・加計学園問題に表れていた安倍の友達優先政治は、支持率の低下などでその本質が明らかになっており、今度の選挙で審判を下すことが出来るはずだったのです。しかし、野党の分裂、とりわけ民進党前代表の迷走と「安倍・小池劇場」の落とし穴にすっぽりとハマりこみ、大敗の結果となりました。当の小池知事はさっさと希望の党の代表を辞任し、次へと舵を切る強かさぶりです。

沖縄の心を わがものに

さらにもうひとつの罪の上塗りには、「連合の神津会長が一役を担った」との報道です。過去にさかのぼれば、国鉄改革が中曽根内閣によって闘う総評が同時期に解体させられたことは忘れられません。またしても、野党分裂に手を貸したのなら残念でたまりません。しかしその隙間で立憲民主党が誕生し、憲法を守る砦の受け皿になったことは不幸中の幸いでした。ただ55議席の数からして、今後多難な状況が続きますが、支援の輪を広げていくしかありません。立憲民主党がしっかり対立軸を明確にして闘うことを期待して、平和な社会づくりに向けてOB会運動を愚直に展開していくこととします。

本部OB会は、辺野古基地建設に反対している沖縄県民と連帯する取り組みを継続して来ましたが、2015年秋に75名での訪沖、昨年春の劇団文化座の「命どう宝」公演の組織的鑑賞、そして昨年末にみなさんからのカンパ金を持参して、3回目の連帯行動をしてきました。なぜ沖縄に基地が集中しているのか、なぜ沖縄の民意が政府に届かないのか、なぜ沖縄県民の安全安心が守られないのか、あまりにも不条理すぎます。これには危険な原発が地方に分散して建設されている原理と同じ質が見えます。しかし原発は、交付金が沖縄と大きく違います。

本部OB会ではできる範囲で、沖縄県民と連帯していく取り組みを重ねていきます。またJR東労組の政策である「沖縄に鉄道を結ぶ」取り組みも支持します。

会員の皆さん、世の中の不条理に抵抗する己は、長年の労働運動の経験から難しいことではありません。その志をどう形にしていけるかが、いまOB会員に求められているのではないのでしょうか。若いJR東労組の組合員は、貪欲に「社会観」を「憲法観」を学ぼうとしています。いまこそ積極的に話しかけ、議論の輪に加わりましょう。それが若々しい高齢者でいられる秘訣です。OB会員のみなさまのご健勝をお祈りし、年頭の御挨拶とします。

本年もよろしく
お願いいたします



- | | |
|-------|-------|
| 顧問 | 大熊勝明 |
| 会長 | 古川建三 |
| 副会長 | 佐々木源幸 |
| 副会長 | 廣瀬隆之 |
| 副会長 | 難波和正 |
| 副会長 | 渡部良司 |
| 事務局長 | 伊藤義男 |
| 事務局次長 | 本田祥章 |
| 事務局次長 | 川崎昭雄 |
| 事務局次長 | 植松健 |
| 事務局次長 | 田崎行夫 |
| OB担当 | 大塚信一 |
| 担当書記 | 三尾典子 |

二〇一八年 元旦



JR東労組中央本部
副委員長 奥山 光昭

OB会の皆さん、明けましておめでとうございませう。
昨年はJR東労組結成30年、OB会結成20年目の節目の年で、新たな歴史を切り拓く決意を打ち固めた年でもありました。

今年は、皆さん方が創り上げた「抵抗とコミュニケーションズム」を基底に据えたJR東労組運動を、さらに強化します。その力で、18春闘では「格差ベア」を根絶し、グループ間格差の是正や沿岸線のツーマン運転を求めていきます。

JR東労組は、鉄道と平和を守る取り組みを強化



JR総連OB連絡会
会長 大熊 勝明

新年明けましておめでとうございませう。

昨年10月の総選挙では、改憲勢力が圧倒的な議席を占め、いよいよ憲法の改悪が「議員立法」として提示される段階になりました。

昨年12月9日に閉会した特別国会では、学校法人「森友学園」の国有地売却問題で、「誠意をもって丁寧」に心える」と云う発言とは真逆の対応で、国会は閉会しました。国民の声を聞く耳を持たない独裁政治に、大変な危機感を覚えます。

平成30年は、これまでにない一年となります。安倍首相は、今月から始まる通常国会で、改憲に至る日程を決定しようとする目論みでいます。年明

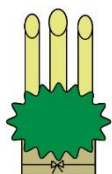
します。国鉄改革時の地方路線を残すたかいたを教訓に、一日通過人員2,000人未満の23線区を守り、仕事と雇用を守るために地元住民や、自治体の皆さんとの連携を深めていきます。その場合、みなさんの地域での活動は大きな力です。

昨年10月の衆議院選挙では、安倍自民党が圧勝し改憲勢力が8割を超え、憲法改悪が政治日程が上がっています。

JR東労組は「憲法改悪絶対反対」を旗幟鮮明にし、今年一年OB会と共にたたかい抜く決意を述べて新年の挨拶とします。

今年もよろしくお願ひします。

2018年 1月 1日



けの国政の動きに関心を持ち、憲法改悪を許さない大きなうねりを創り出しましょう。

JR総連OB連絡会は、各単組OB会間の交流を進めてまいります。そして各単組の課題の取り組みを支援してまいります。特に、JR北海道が発表した「事業範囲の見直し」と、JR各社の見え隠れする「赤字線区の廃止」の策動に対しては、「血と汗と涙」で国鉄改革を担ったOBとしては絶対に許す訳には行きません。

この一年は、組織強化に努めてまいります。各単組のOB会も、この数年は会員の横ばい状態が続いております。将来を見据えて、誰もが気軽に集えるOB会組織にしましょう。

OB会員の皆さんのご健勝をお祈りし、新年のご挨拶とします。

2018年 元 日

安全、安心、未来に希望が持てる 社会保障制度の確立へ



日本退職者連合
会長 人見 一夫

新年あけましておめでとうございませう。

会員の皆様には、健やかに新年を迎えられたことと存じます。今年一年が、皆様をはじめご家族にとって良い年になるよう祈念致します。

さて、日本は人口減少、超少子高齢社会に突入しています。2025年には65歳以上の人口が3,657万人となり、総人口の3割を超えます。さらに年を追うごとに、高齢化と人口減少は進行します。

高齢化が進む中で社会保障のための財源確保は喫緊の課題です。消費税の引き上げ、不公平税制の改革、安定した雇用と労働分配率改善などが求められています。

また今年、憲法改正問題、持続可能な社会保障制度確立の問題、特に年金、医療・介護等の充実に向けた取り組みなど、多くの重要課題が山積みしております。

日本退職者連合は、政策・制度要求を決定し、政府や政党に要請行動を行ない、合わせて地方退職者連合の皆様も各県、市区町村への要請の取り組みを展開しております。こうした具体的な行動を通して、中央・地方での退職者連合が、住民からの信頼を得る組織となるよう今後も努力してまいります。

日本退職者連合は、安全、安心、未来に希望が持てる社会保障制度を確立するため、全国の仲間と現退一致の闘いを進め、今年も「行動する退職者連合」をめざして頑張ることを決意し、新年のごあいさつとします。

2018年 1月 1日